

企業紹介

理想の住まいを、
いっしょう、いっしょに



代表取締役 長谷川 寛
〒944-0095 妙高市十日市473
TEL(0255)72-2734 FAX(0255)72-0739
URL <http://www.yeshasegawa.co.jp/>

業 種：建設
資 本 金：7,600万円
事業内容：建築一般・施工、住宅建築、各種建築、
リフォーム工事、宅地建物取引業

上越地域を拠点に、雪国ならではの気候や風土に適した住宅建築を手がけてきた長谷川興業(株)。少ないエネルギーで夏や冬を快適に過ごせる高断熱・高気密住宅も他社に先駆けて20年以上前から導入し、実績をあげてきた。最近では、従来の高断熱・高気密住宅よりも熱効率を高めた工法を県内で初めて採用。環境問題が大きくなるなか、住宅から出るCO₂排出量を削減し、環境にやさしい100年以上続く住宅を提供する。

積雪の多い地域ならではの家造り

同社は1952年に木材・製材業として創業。その後、住宅需要が高まるなか、上越地域を拠点とした一般住宅建築業へと移行し、多様なニーズに応えた住宅を提案、建築してきた。特に、同社では積雪の多い地域ならではの家造りに力を入れており、最大4mの積雪にも耐えられる雪下ろしが不要な木造耐雪構造を自社開発するほか、少ないエネルギーで夏冬を快適に過ごせる高断熱・高気密住宅なども他社に先駆けていち早く導入してきた。



▲雪下ろしがいらぬオリジナル・フラットルーフ（水平屋根）

これまでの高断熱・高気密住宅の熱効率を大幅に向上

また、最近では、これまでの高断熱・高気密住宅以上に熱効率を向上させる工法「Q1.0（キューワン）」を県内で初めて採用し、施工を開始した。同工法は、高断熱・高気密住宅の普及と研究を続けている「新住協（新木造住宅技術研究協議会）」が提唱する住宅工法で、室内の空気の流れや湿度を調整する熱交換換気システムや断熱材の厚さの調節、太陽光を効率よく取り入れられるガラスや断熱ブラインドを利用することで、室内の熱量が外へ逃げるのを大幅に節約することが可能となる。これにより、冷暖房費を国が定める次世代省エネルギー基準住宅の1/2から1/4まで減少することができ、住宅から出るCO₂排出量も削減できる。



▲お客様の要望に合わせて住宅を設計・建築

100年にわたり3世代が住める財産としての住宅

同社では、住宅建築40年の実績を活かし、現在までに上越地域で1600棟以上の住宅を建築してきた。そうしたなか、「近年では、住宅の寿命も延びており、100年以上続く住まいも実現可能です。次世代、その次の世代へ住宅を残していくならば、環境への配慮や快適性、強度・耐震性など建物の基本性能はますます重要になってきます。だからこそ、住宅を建てる時点で、デザインやコストだけではなく、基本性能についても充分に考慮する必要があるのです」と、長谷川社長は基本性能の重要性を強調する。



▲長谷川社長